



ハイハットスタンド

Hi-Hat Stand

Hi-Hat-Maschine

Trépied de cymbale Charleston

Supporto hi-hat

Soporte para charles

Estante de Hi-hat

Стойка для хай-хэта

踩镲架

Hi-Hat 架

하이햇 스탠드

HHS9D

取扱説明書

Owner's Manual

Benutzerhandbuch

Mode d'emploi

Manuale di istruzioni

Manual de instrucciones

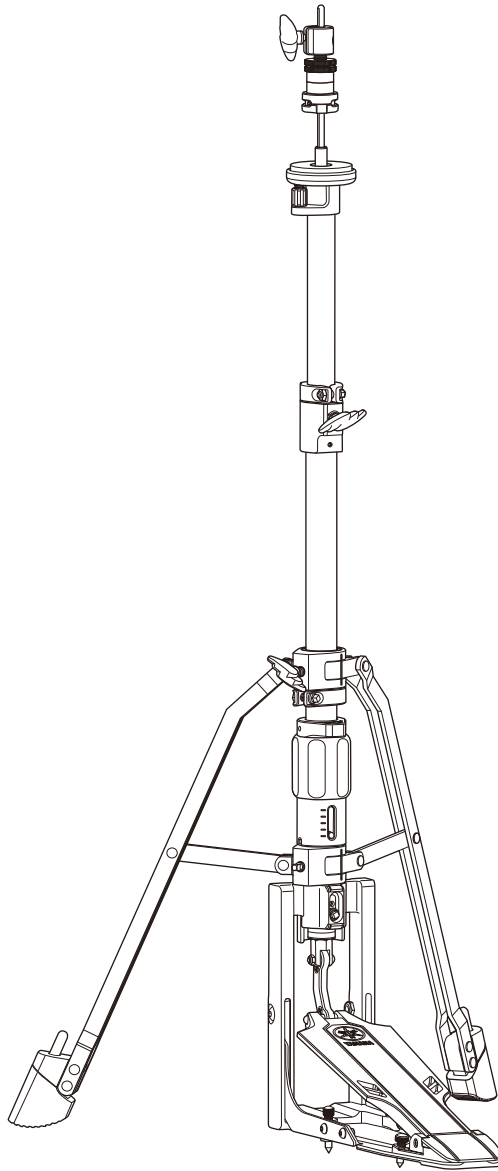
Manual do Proprietário

Руководство пользователя

使用说明书

使用説明書

사용설명서



日本語

English

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Русский

简体中文

繁體中文

한국어

JA

EN

DE

FR

IT

ES

PT

RU

ZH-CN

ZH-TW

KO

はじめに

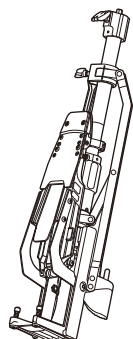
このたびは、ヤマハ ハイハットスタンドをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、末永くご愛用ください。
また、お読みになったあとも、いつでもご覧になれるところに大切に保管していただきますようお願いいたします。

部品の確認

本製品の梱包箱には、以下の部品が入っています。
組み立ての前に、すべての部品がそろっていることを確認してください。

※ 部品が不足している場合は、お買い求めになった販売店またはサービス拠点にお問い合わせください。

- ① 取扱説明書 (本書)
- ② ベースユニット
- ③ トップパイプ
- ④ ハイハットシャフト (長×1、短×1)
- ⑤ ハイハットクラッチ (LC9)



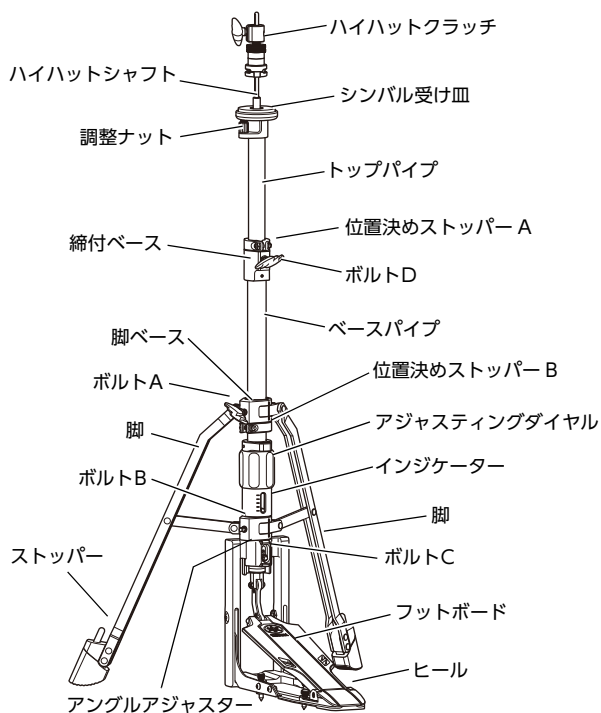
- ⑥ チューニングキー



* 出荷時には短い方のハイハットシャフトが
あらかじめトップパイプにセットされてい
ます。

- ⑦ 安全上のご注意チラシ
- ⑧ サービス拠点チラシ

各部の名称



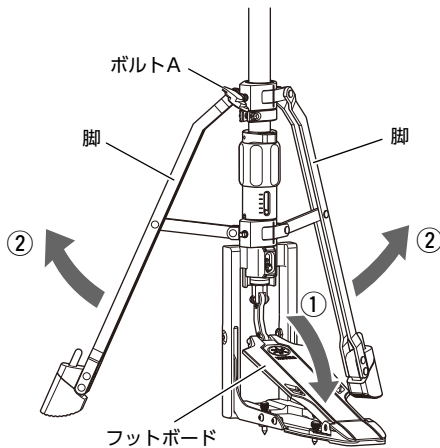
* 本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。
最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロード
できます。

組み立て方

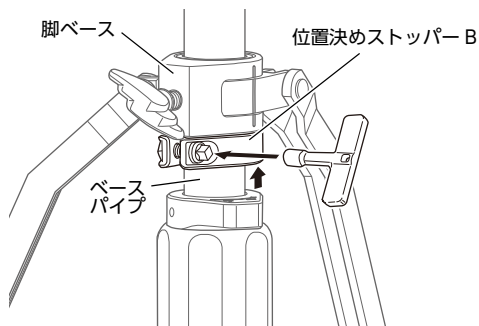
以下の手順でハイハットスタンドを組み立てます。

1. 脚部の固定

- ① ベースユニットのフットボードを下ろします。
- ② ボルトAを緩め、演奏時に安定するように2本の脚を十分に広げます。

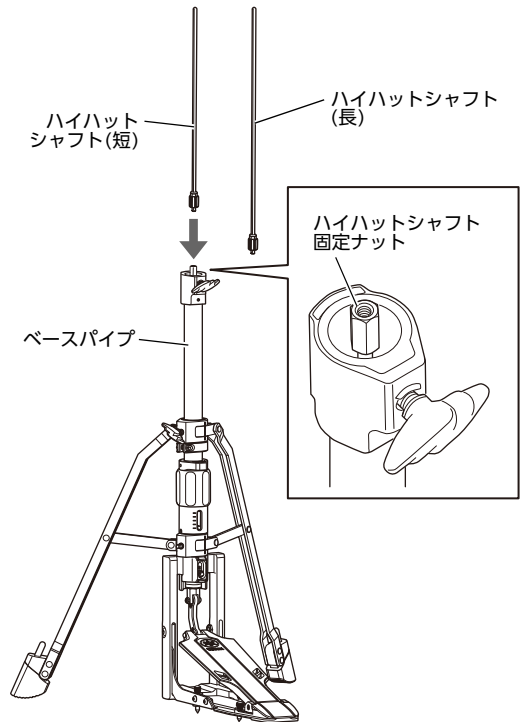


- ③ ボルトAを締めて脚を固定します。
- ④ 必要に応じて、位置決めストッパー Bで一度決めた脚の開き位置を記録します。チューニングキーで位置決めストッパー Bのネジをゆるめ、脚ベースとベースパイプの境目に移動させてからネジを締めて固定してください。



2. ハイハットシャフトの選択/取り付け

- ① 同梱のハイハットシャフトのうち長/短いいずれかを、ご自身で使用する高さに合わせて選択します。



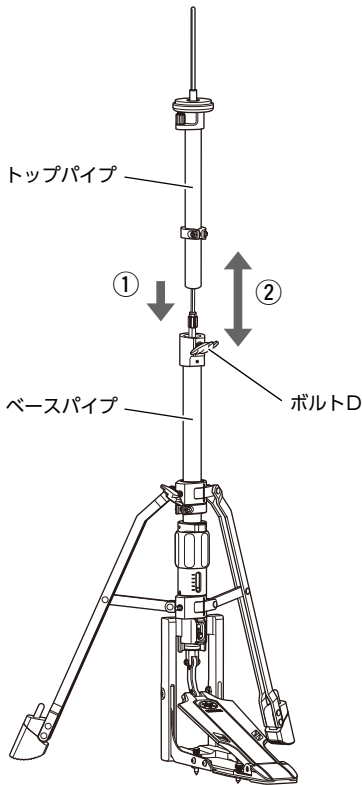
- ② ベースパイプ内部のハイハットシャフト固定ナットに、選択したハイハットシャフトをねじ込んで連結します。

NOTE

- HHS9Dはお客様の使用する高さに合わせて長・短2種類のハイハットシャフトを同梱しております。
- 出荷時には短い方のハイハットシャフトがあらかじめトップパイプにセットされています。

3. トップパイプの取り付け

- ① トップパイプをベースパイプに差し込みます。
- ② 好みの高さに調節後、ボルトDを締めて固定します。

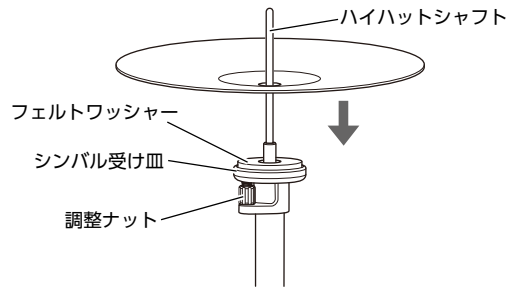


ご注意

トップパイプを差し込んでいない状態でボルトDを空締めしたまま長期間放置すると、トップパイプが差し込めないなどの故障の原因となりますのでご注意ください。

4. ハイハットシンバル(下側)の設置

ボトムハイハットシンバルをシンバル受皿の上に設置します。



NOTE

- ボトムハイハットシンバルの傾き角度を調整するときは、シンバル受け皿の下にある調整ナットを回してください。

5. ハイハットシンバル(上側)の取り付け

トップハイハットシンバルをハイハットクラッチ(LC9)に取り付け、ハイハットシャフトに通します。

- ① クラッチボルト上部を片手で持ちながら、反対手でクラッチナットの金属部分を左に回してクラッチナットを取り外します。

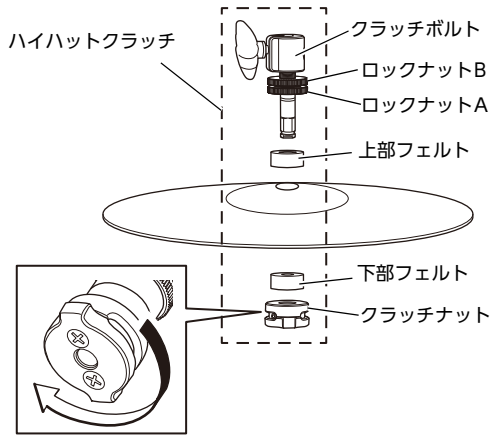


NOTE

- ハイハットクラッチは、トップハイハットシンバルを2つのフェルトの間にはさんで固定させるためのものです。

- ② 下部フェルトを取り外してシンバルを取り付けます。下向きにしたシンバル、下部フェルト、クラッチナットの順にクラッチボルトの軸に通し、シンバルを上部フェルトと下部フェルトではさみこむようにします。

このとき穴の向きに注意して、クラッチナットを奥まで取り付けます。

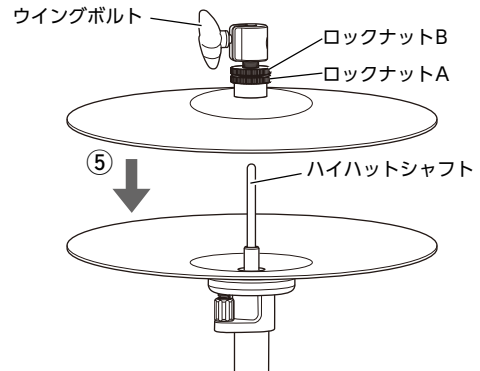


- ③ クラッチナットの金属部分をカチッと音が鳴るまで右に回して、シンバルを固定します。クラッチナットが抜けないか確認してください。

- ④ ロックナットを回してシンバルをはさむ強さを調整します。右に回すと締まり左に回すとゆるみます。

NOTE

- ロックナットは緩み防止のため二重構造になっています。まずロックナットAでシンバルの固定具合を調整してから、ロックナットBでロックナットAを締めつけてしっかり固定します。
- ロックナットをきつく締めるとクラッチナットの取り付けができなくなることがあります。その場合はクラッチナットが取り付けられる位置までロックナットをゆるめてください。



- ⑤ シンバルが固定されたハイハットクラッチをハイハットシャフトに通し、ウイングボルトを締めて固定します。

トップハイハットシンバルの取り外しは

①～⑤を逆の手順で行います。

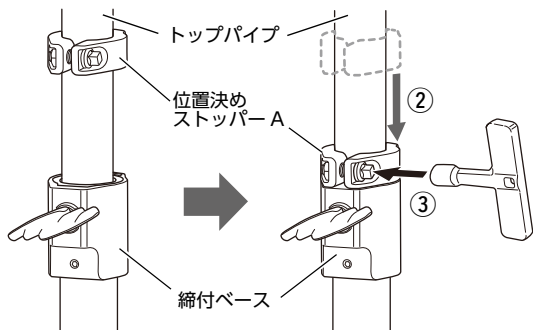
NOTE

- よりスムーズな動作を保持するために、可動部分には時々グリスなどの油を塗布してください。

6. 位置決めストッパーの設定

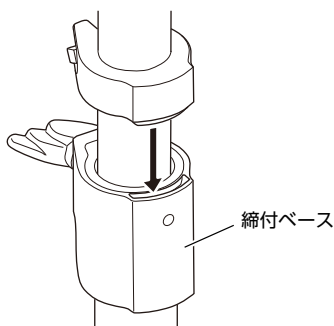
位置決めストッパー A で、一度決めたハイハットシンバルの高さと向きを記録します。

- ① 必要に応じて手順3- ②、手順5- ⑤の方法でハイハットシンバルの位置を再調整します。



- ② チューニングキーで位置決めストッパー A のネジをゆるめ、トップパイプと締付ベースの境目に移動させます。

このとき位置決めストッパー A を締付ベース背面のくぼみにしっかりはめ込みます。



- ③ チューニングキーで位置決めストッパー A のネジを締めて固定します。

NOTE

- 演奏中のハイハットシンバルの位置ずれを防止するためにも、位置決めストッパーのネジはチューニングキーでしっかり締めてください。

以上で組み立ては完了です。

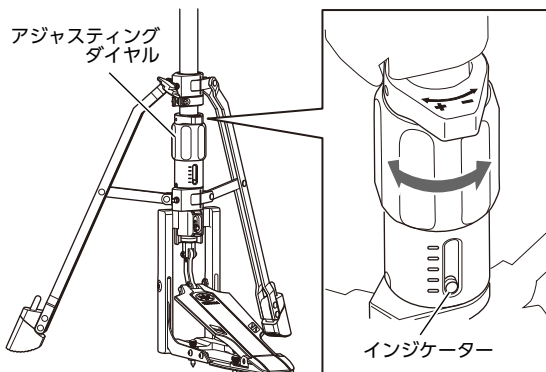
各種調整について

以下の方法でハイハットスタンドを好みの状態に調整できます。

■ スプリングテンションの調整

アジャスティングダイヤルでフットボードの springs の強さを変えて、踏み込み具合を調整します。「-」方向に回すと弱く、「+」方向に回すと強くなります。

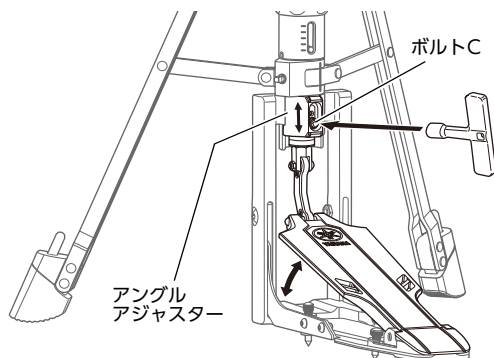
スプリングの強さはインジケーターで視覚的に確認できます。



■ フットボード角度の調整

アングルアジャスターを上下に移動させてフットボードの角度を調整します。

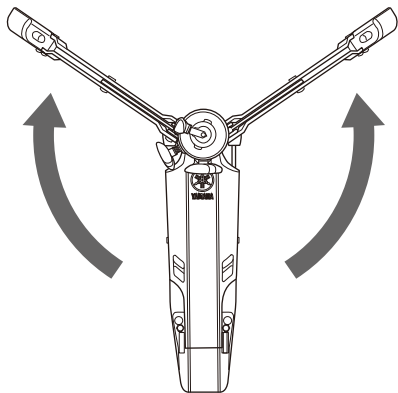
- ① チューニングキーでボルト C をゆるめ、アングルアジャスターを上下に移動させます。



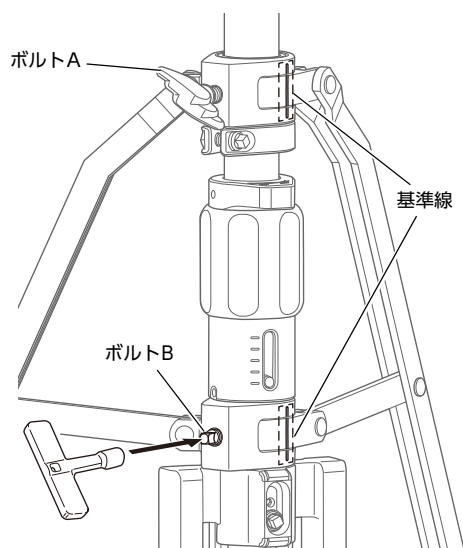
- ② お好みの角度にフットボードを調整し、チューニングキーでボルト C をしっかり固定します。

■ 脚位置の調整

2本の脚の位置を調整します。



- ① ボルトAを緩め、さらにチューニングキーでボルトBを緩めます。
- ② 各脚をお好みの位置に調整し、ボルトAとボルトBをしっかりと締め付けてください。



NOTE

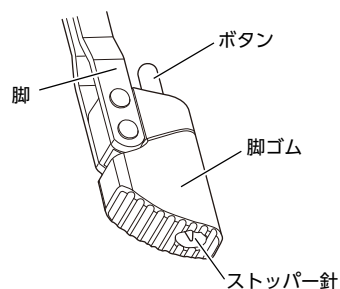
- 最も安定する位置(基準線が1列に揃う位置)まで脚を十分に広げることをおすすめします。

■ 位置ずれの防止

ストッパーやスパイクを使うことで演奏中にハイハットスタンドが前進するのを防ぎます。床を傷付けないようにカーペットなどを敷いてお使いください。

【ストッパー】

脚ゴム上部のボタンを押し、内蔵されているストッパーを出します。

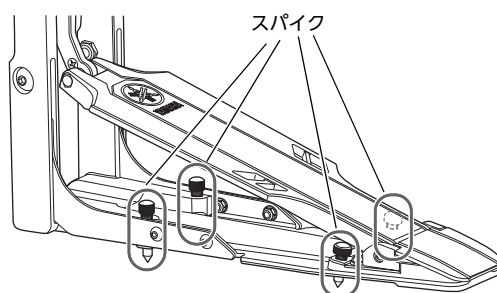


NOTE

- 脚ゴム上部のボタンを押すことにより、ワンタッチでストッパー針の出し入れが可能です。

【スパイク】

フットボード下部4カ所のスパイク頭部を時計方向に回してスパイクを出します。



Yamaha Global Site
<https://www.yamaha.com/>

Yamaha Downloads
<https://download.yamaha.com/>

YAMAHA CORPORATION

10-1 Nakazawa-cho, Chuo-ku,
Hamamatsu, 430-8650 Japan

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中央区中沢町 10-1

© 2023 Yamaha Corporation

Published 10/2023 2023年10月 発行

IPOE-A1

VED2200